

高校教育旅行特集

注目の訪問先 台湾

台湾基本情報

人口:約2300万人
 面積:約3万6000平方キロメートル(日本の九州くらい)
 気候:北部は亜熱帯気候、南部は熱帯気候。
 台北の気温=1月最高18.9度・最低13.3度、4月最高25.6度・最低18.7度、8月最高33.5度・最低25.6度、10月最高27.8度・最低22.0度
 民族:漢民族と先住民族(14民族)
 時差:マイナス1時間
 言語:公用語は中国語(北京語)。台湾語や客家語を話す地域があるほか、先住民族にはそれぞれの言語がある
 通貨:ニュー台湾ドル(NT\$、元、円で表記)2011年3月現在、1元=2.76円
 台湾の教育制度:
 初等教育=国民小学(小学校に相当)に6歳で就学し、修業年数は6年。
 前期中等教育=国民中学(中学校に相当)。修業年数3年。
 後期中等教育=高級中学(普通科高校に相当)、「高級職業学校」(実業系高校に相当)など。就業年数は3年。
 高等教育=大学。一般学科は4年制。
 ※義務教育は、国民小学と国民中学を合わせた9年間。
 ※学期は、高等教育までのすべての学校が2学期制。基本的に1学期が9月1日から旧正月が始まる1月31日まで、2学期が2月1日から7月31日まで。8月中が夏休みとなる。



台湾の総統府。見学ができ、日本とのかかわりも学べる

「台湾で実感する「学び」と「交流」

海外修学旅行の訪問先として、台湾が注目されている。実際に台湾を訪れる高校は近年、増加傾向にある。移動距離の短さや時差の少なさ、治安の良さなどの利便性、安全性はもとより、日本とのかかわりの深い歴史や文化、成長目覚ましい経済や産業、美

海外修学旅行の訪問先として、台湾が注目されている。実際に台湾を訪れる高校は近年、増加傾向にある。移動距離の短さや時差の少なさ、治安の良さなどの利便性、安全性はもとより、日本とのかかわりの深い歴史や文化、成長目覚ましい経済や産業、美

日本とのかかわり深い台湾へ

台湾への高校の修学旅行は増加傾向にある。全体に占める割合も公国修学旅行研究協会の調査によると、台湾への高修学旅行は9年度(10年度)が52校、9945人(公立36校、私立16校)と、実数として、台湾の高校と姉妹校数は5年前の04年度が23校で、年々増加傾向にある。実数として、台湾の高校と姉妹校数は5年前の04年度が23校で、年々増加傾向にある。

歴史のうねりに学ぶ

修学旅行先に台湾を選んだ理由は、旅行実施の利便性や安全性だけでなく、「学び」と「交流」による教育効果の高さがある。台湾と日本の間には、歴史の分岐点に深い関係がある。台湾の歴史を知ることで、歴史のうねり、日本を学ぶことにもつながる。例えば、「鄭成功」が台湾を統一したことが、台湾の歴史の重要なポイントである。鄭成功は、1661年にオランダ軍を駆逐し、新に王朝を樹立した。この鄭成功の父は、台湾に渡り、オランダを駆逐した。この鄭成功の父は、台湾に渡り、オランダを駆逐した。

産業、文化、自然を感じる

学びたい歴史だけでなく、現代の台湾は経済成長を遂げ、アジア太平洋地域でも躍進感あふれるエリアとなっている。世界をリードする産業分野もあり、日本人に身近な製品の中にも台湾のブランドが多くある。アジアの発展、グローバルな経済圏を体感している。台湾で学んでいるのは、台湾の発展を体感している。台湾で学んでいるのは、台湾の発展を体感している。

整備が進む都市や交通網

台北市では、商業施設や高級ホテル、建設現場などが相次ぎ建設されている。新興地区の信義区には、台北市のランドマークとなっている超巨ビル「台北101」が、高さ450.8メートル、89階の展望台は観光スポットとなっている。一方、台北市北部の観光地、九份にはかつて鉱山の街として栄えた面影が残る情緒あふれる街並みが広がっている。



故宮博物院(台北市)。台北は文化の魅力を堪能できる

学校間交流を推進

台湾での教育旅行の推進として、受け入れ組織の調整、受け入れ連盟を組織している。生徒同士も、文の受け入れ校として355校以上をリストアップしている。台湾の教育旅行の推進として、受け入れ組織の調整、受け入れ連盟を組織している。

日常的に見ることができ、日本への関心が高くなり、日感情が芽生えるきっかけになっている。台湾での教育旅行の推進として、受け入れ組織の調整、受け入れ連盟を組織している。

青少年交流が日台間で拡大

台湾と日本の間には、フーズ・ホリデー、09年9月から相互に「フーズ・ホリデー」制度が導入されている。台湾が導入されている。台湾と日本の間には、フーズ・ホリデー、09年9月から相互に「フーズ・ホリデー」制度が導入されている。

八田技師の功績学ぶ

台南市官田にある台湾 八田氏は、土木工学を学ぶ。八田氏は、台湾に赴き、水利建設を指導した。八田氏は、台湾に赴き、水利建設を指導した。



八田氏の銅像

埼玉県立志木高校

埼玉県立志木高校(西ケーション)は、09年度 修学旅行して成果を上げている。公立高校の間にも海外修学旅行を実施している。公立高校の間にも海外修学旅行を実施している。

台湾で「交流」の旅

海外修学旅行に憧れる生徒が、今年度は、海外修学旅行を実施している。公立高校の間にも海外修学旅行を実施している。公立高校の間にも海外修学旅行を実施している。

台湾観光協会
 東京事務所
 〒105-0003
 東京都港区西新橋1丁目5-8川手ビル3F
 電話03-3501-3591 FAX03-3501-3586

台湾観光局
<http://jptaiwan.net.tw>

2010-2011
 台日観光交流年
 TAIWAN-JAPAN Tourism Exchange Year

台湾教育旅行マニュアルやDVD、各種観光資料などを配布しているほか、教育旅行のご相談も受け付けています。

問い合わせは、台湾観光協会まで